

# SCOUT-IWAKI

## 広報スカウトいわき

2017  
Vol.21  
12・1

発行/29・12・1

発行/ボーイスカウトいわき地区総務委員会

### 多様な話し合いが必要



いわき地区協議会会長  
西山 允雄

日頃各団におかれましては、精練されたプログラムのもと、スカウトに則したスカウティングを展開されていると思います。

十月に入り今年度も折り返しの時期になりました。地区としての事業計画も半分を消化してきたところですが、重点目標や努力目標に添った展開ができたのかどうかということになると、曖昧で検証が十分になされたとはいえないと思っています。

検証の場ということになると地区委員会で行うのが適切であるかと思いますが、その地区委員会を構成するメンバーの出席が少ないものですから、検証(反省)も深まらないままになってしまいます。

事業を行う場合「計画」「実行」「検証(反省)」の流れで進めていくのですが、会議のメンバーが全員関わっていかないと偏った話し合いとなり、多様な深みのある話し合いが出来ないのではないかと考えています。

地区委員会構成メンバーが、それぞれの役割を認識し、各会議に参加してほしいと願っています。よきスカウト育成のために！。



### そなえよつねに



いわき地区委員長  
佐藤 易孝

暑かった夏の雲達は、いつの間にか秋の澄み切った空の一部になって爽やかなこの頃です。各団の皆様には、元気に活動して下さるでしょうか。

今年は、八月に県合同キャンプが福島つつじが森にて開催され五泊六日の長いキャンプでしたが、いわき地区より八名のスカウトが参加し自隊で出来ない事や他団のスカウト達との交流、そして、仲間作りなどたくさん経験をしたことと思います。また、地区の指導者の皆様もプログラム委員会を中心に力を合わせてスカウト達のために協力いただき、指導者のパワーを感じさせられました。

来年は、日本ジャンボリーが開催されます。この夏のキャンプに参加したスカウト達がキャンプで学んだ事、経験した事を活用し全国スカウト、そして、外国のスカウト達と一緒に活動し思い出を作ってもらいたいと思います。

さて、「そなえよつねに」スカウトのモットーです。いつも耳にし、口にしていると思われれます。それを実践していますか。そして、その大切さをスカウト達に伝えていますか。(さあこい！いつでも準備はできているぞー)の心構えです。

スカウト達は、指導者の言動を見ています。耳をそばだてて聞いています。指導者の皆様は、「そなえよつねに」の意義をその背中で見せてやってください。そうすれば、スカウト活動の楽しさ大切さが波紋のように広がって、いわき地区の活動が活発になる事を願っております。

平成二十九年十月十日



# SCOUT-IWAKI

## 広報スカウトいわき

2017  
Vol.21  
12・1

発行/29・12・1

発行/ボーイスカウトいわき地区総務委員会

### 多様な話し合いが必要



いわき地区協議会会長  
西山 允雄

日頃各団におかれましては、精錬されたプログラムのもと、スカウトに則したスカウティングを展開されていると思います。

十月に入り今年度も折り返しの時期になりました。地区としての事業計画も半分を消化してきたところですが、重点目標や努力目標に添った展開ができたのかどうかということになると、曖昧で検証が十分になされたとはいえないと思っています。

検証の場ということになると地区委員会で行うのが適切であるかと思いますが、その地区委員会を構成するメンバーの出席が少ないものですから、検証(反省)も深まらないままになってしまいます。

事業を行う場合「計画」「実行」「検証(反省)」の流れで進めていくのですが、会議のメンバーが全員関わっていかないと偏った話し合いとなり、多様な深みのある話し合いが出来ないのではないかと考えています。

地区委員会構成メンバーが、それぞれの役割を認識し、各会議に参加してほしいと願っています。よきスカウト育成のために！。



### そなえよつねに



いわき地区委員長  
佐藤 易孝

暑かった夏の雲達は、いつの間にか秋の澄み切った空の一部になって爽やかなこの頃です。各団の皆様には、元気に活動して下さるしょうか。

今年は、八月に県合同キャンプが福島つつじが森にて開催され五泊六日の長いキャンプでしたが、いわき地区より八名のスカウトが参加し自隊で出来ない事や他団のスカウト達との交流、そして、仲間作りなどたくさん経験をしたことと思います。また、地区の指導者の皆様もプログラム委員会を中心に力を合わせてスカウト達のために協力いただき、指導者のパワーを感じさせられました。来年は、日本ジャンボリーが開催されます。この夏のキャンプに参加したスカウト達がキャンプで学んだ事、経験した事を活用し全国スカウト、そして、外国のスカウト達と一緒に活動し思い出を作ってもらいたいと思います。

さて、「そなえよつねに」スカウトのモットーです。いつも耳にし、口にしていると思われれます。それを実践していますか。そして、その大切さをスカウト達に伝えていきますか。(さあこいー！)いつでも準備はできているぞーの心構えです。

スカウト達は、指導者の言動を見ています。耳をそばだてて聞いています。指導者の皆様は、「そなえよつねに」の意義をその背中で見せてやってください。そうすれば、スカウト活動の楽しさ大切さが波紋のように広がって、いわき地区の活動が活発になる事に願っております。

平成二十九年十月十日







県合同キャンプに参加して



ボーイ隊  
山野辺 臣

ぼくは、つじが森キャンプ場で行われた県合同キャンプに三泊四日に参加してきました。

雨の中で立ちカマドやシャワールームを作ったのが大変でしたが、ごはんをおいしく作れたので良かったです。救急法ゲームでは、前のキャンプで練習したので、うまく行きましたが、手旗通信ゲームは全く分かりませんでした。

このキャンプでは、相馬や会津のスカウトと仲良くなれたので、このようなキャンプにまた参加したいです。

いろんなことを学んだキャンプ

ボーイ隊  
國島 脩斗

ぼくは、三泊四日のキャンプに行って楽しかったことが、三つあります。

一つ目は、ご飯作りです。なぜかというナポリタンやサラダなどを作ったりするからです。おいしくできたり、おいしくできなかったりしたりする時もおもしろかったです。

二つ目は訓練です。なぜかという、救急法や手旗などをしたけれど、一番楽しかったのは、助け合う訓練でした。

三つ目は、ナイトゲームです。キノコ探しや目かくしをして物を探したりすることが、とても楽しかったです。

ぼくは、キャンプで助け合うことが大切だと学びました。一人ではできなくてもみんなで力を合わせれば出来るということに改めて分かりました。キャンプに行けて本当によかったです。

三泊四日のキャンプを終えて



ボーイ隊  
緒方 駿

ぼくは、八月八日から十一日まで福島市のつじが森野営場で三泊四日のキャンプに参加してきました。

台風の中、テントを建てたり、立ちかまどを作ったりするのは大変でした。そんな作業の中、もっと積極的に行動すれば良かったと思います。一人一人の役割をきちんとすれば、みんな気持ちよく過ごせる事も知りました。いろいろな事を学べたので参加して良かったです。

夏のデイキャンプ

カブ隊  
多嶋 恵佑

ぼくたちは、八月六日にデイキャンプがありました。行き先は、岩瀬牧場です。

はじめて行く、岩瀬牧場でヤギやウサギやポニーに、にんじんを食べさせることができたり、四人のり自転車に友だちと汗を流しながらこいだのも楽しかったです。

隊のみんなで食べた、ソフトクリームはとてもおいしかったです。その後、田んぼアートを見に行きました。図書館の二階が、展覧台になっていて一寸ぼうしのお話しが、七色のお米で田んぼに、はつきり見えてすごいなと思いました。いねに色々な色があるのもわかって良かったです。

友だちと同じ体験ができて、とっても楽しいデイキャンプでした。



楽しかったデイキャンプ

カブ隊  
國島 彪雅

八月六日にデイキャンプに行きました。カブ隊五名と、ヒーパー隊で、岩瀬牧場に行きました。世界最古のトラクターを見ました。

所さんのテレビで見たトラクターだったので本物が見れて、うれしかったです。うしに草をあげたり、ツリーハウスにも登りました。四人乗りの変り種自転車も初めて乗りました。このが大変だったけど、おもしろかったです。ソフトクリームも食べました。暑かったのですぐとけてきて食べるのが大変でした。みんなと少しずつ食べるソフトクリームは、とてもおいしかったです。

その後に、鏡石町に田んぼアートを見に行きました。今回の田んぼアートは、一寸法師でした。いねを使って作図が出来るなんて、すごいなと思いました。

仲間と楽しい思い出ができて、うれしかったです。来年のキャンプも楽しみます。

デイキャンプにいったよ。

ビーバー隊  
くにしみ れお

ぼくは、八月六日にデイキャンプに行きました。岩瀬牧場と田んぼアートを思い出しました。

岩瀬牧場で、トラクターを思い出したので草を食べさせてあげたり、木の上にあるツリーハウスにのぼって、窓の見たらうしがかみまわすした。はじめていはいのほりでした。おりにきは、むすかしかったです。かわりだねじてん車の一人のりは最初は、むすかしかったけど途中からコツをつかんでくることが出来ました。むすかしかったけど、楽しかったです。みんなで食べたソフトクリームは、すごくおいしかったです。

鏡石町の田んぼアートをみました。いねで一寸法師がえがかれていました。

みんなと楽しい時間をすごせられていいです。またみんなと行きたいです。



隊活動コンスタント

いわき一団

片寄 好雄

隊活動の一年間を振り返ってみました。毎月いろいろな行事をしてきました。しかしながらスカウト人数が少なく班対抗ができません。それでも活動は続けています。

マンネリ化しないリーダー・スカウト達と知恵を出し楽しいプログラムを作成し活動してまいりました。一月は物作りでナイフの作成、三月はスカウト達だけで小旅行、四月はハイキング、五月はキャンプ、六月はカヌー、八月は鹿角平で団キャンプ、夕方はスゴイ雷、夜は天文台と楽しいキャンプでした。

これからもスカウト人数を増し、他団との交流を図りながら進歩制度を活用したいと思っております。来年は日本ジャンボリー、一団から一人でも多く参加させて、楽しいキャンプを経験させたいと思っております。

私も老体にムチ打って、これからもスカウト達のためにも頑張ってまいります。



いわき第一団

活動報告



6月11日(日)

カヌー訓練を行いました。

場所は小川地区 夏井川中流域。

天気は快晴。

爽やかな空気漂う抜群のカヌー日和。

8月19日(土)・20日(日)

団キャンプを行いました。

場所は鮫川村。鹿の角平キャンプ場。

天気は初日曇り時々雨、時々豪雨。二日目は曇り。

夜は肌寒いくらい。





団の活動について

いわき第六団 団委員長

皆川 正勝



現在、団としての活動は停滞しています。スカウトは遠方の学校生活や仕事で、指導者も仕事や多方面の活動に追われ、募集活動も思うように出来ない状態です。

私事、スカウト活動の為に土日が休みの仕事に転職したつもりですが、何とも上手く行かない現状に悩んでおります！ 愚痴や不平不満を言わず、加盟員増の為に少しでも多くの募集活動をやり続け、少しでも多くの募集活動をやり続けていきたい。それが今の私の、団の活動です。

今後も楽しい活動を続けられる様に協調性と責任感を持ち名前だけではない行動力で日々邁進有るのみ。地区の皆様、今後も御指導御鞭撻の程宜しくお願い致します。

いわき第六団



愛すべき我がいわき三団

いわき三団 カブ隊 隊長

菊池 洋行

私が所属するいわき三団は、平成二十八年十一月三日で発団六十周年を迎えた歴史のある団です。

団内の指導者には、元々スカウトとして活動したのちに指導者となったいわゆる「スカウト上がり」と言われる指導者が多いです。

私もそのスカウト上がり指導者の一人です。スカウト上がりの指導者とそうでない指導者を比べたとき決定的に違う事は何でしょうか？私が考える最大の違いを誤解を恐れずに言えば「バカかバカじゃないか」と思います。

十年以上同じ仲間とキャンプ生活や、様々な活動を共にする事ではなかなか聞きません。加えて、そこを指導しているのがスカウト上がりの指導者ならば、その道を通ってきたスカウトは皆「バカ」の様に「おバカ」が出来上がっていきます。

私が現在指導者として「こんななのは、スカウト時代、「こんな」指導者の方々にみっちり」と「こんな道への基礎」を知らず知らずのうちに植え付けて頂き、育てて頂いたからです。

そして、私も、今日担当しているスカウトに「バカになれ、バカになれ」と、バれない様に暗示をかけるながら楽しく元気にバカ騒ぎをしながらスカウティングを続けて行く「こう」だと思います。

私をこんな風に育ててくれたいわき三団の指導者の先輩方を私はめっちゃくちゃ愛しています。

リレー随想



今回  
いわき第三団

次回  
いわき第六団

編集後記

今夏は、「福島連盟合同隊キャンプ2017」が開催されました。

5泊6日の長期キャンプを通じて、キャンプの基本を学び、班活動の体験や、スキルアップ等々、盛り沢山の訓練内容であったようです。

県連では初めての試みであり、いわき地区からも八名のスカウトが参加しました。この経験は、来年のスカウトジャンボリーへの大きな足がかりになったことと思われまます。スカウトにとっては大変有意義なキャンプであったようで、数名の参加スカウトの感想を載せました。

私の団では以前から、歌を忘れたスカウト」ということでスカウトソングが話題になることがありました。

この度待っていたかのようなタイミングで、ボーイ部門のターゲットバッジの種類の中に、スカウトソング章が設けられたことを聞きました。

近いうちにこの説明会が行われるということ、詳細はまだ不明ですが、このスカウトソング章が集会、ハイイク、キャンプや営火等スカウト活動の際の一助になって、元気印のスカウトが多く育って欲しい…ひそかな私の願いです。

(水谷記)





いわき第三団



かもめ班  
小澤 亮太

**楽しかった事**  
班員と一緒に活動できたこと。  
**つらかった事**  
3日間ぐらい雨が続いて、外での活動があまり出来なかった。  
**5泊6日のキャンプの感想**  
他の班とも協力しながら色々な活動が出来てとても楽しかった。

タカ班  
永山 智寛

**楽しかった事**  
寸劇をしたこと。皆で食事をしたこと。  
**つらかった事**  
テントを何回もたてたこと。自炊をすること。  
**5泊6日のキャンプの感想**  
自分達でテントをたてたり、自分達のご飯を作ること協力してできました。ご飯を時間内に作る事がとても大変でした。大変な事もあったけど楽しかったです。



いわき第十団

ビーバー隊・カブ隊元気！  
上半期の活動

六月十八日(日)  
フラワーセンターでビーバー隊・カブ隊の集会を行いました。ビーバー隊は、いわき第三団ビーバー隊と交流隊集会でした。なかよく楽しく交流しました。カブ隊は第十団だけの活動でした。

七月九日(日)  
ビーバー隊・カブ隊合同で自分たちが植えたじゃがいも掘りを行いました。  
掘り起しながら「うわあーでっかい」「これはちっちゃい」などと歓声をあげて楽しんだ一日でした。



八月二十日(日)

ビーバー隊・カブ隊合同でこの日も活動しました。今日は「平消防署」の見学です。消防署の署員から消防署について話を聞いてから見学をしました。  
消防自動車ばかりでなく、いろいろな自動車があるのに驚いていました。

特に、ハシゴ車が長く伸びて行くのにはびっくりしていました。

大谷広夢君(四年)「ハシゴ車のハシゴが五階以上のびていくのがすごかったです。また、救急車やタンク車の自動車もあるのがわかりました。

酒井優太君(三年)「ベッドがたくさんある部屋があって、交替で寝ることがわかりました。

楢山旬君(三年)「三階のパネルがある部屋(指令室)がおもしろいと思いました。

